

論理的に考える

同じ形を見つけよう



箱にいろいろな形の穴が空いていて、同じ形のブロックをはめて入れる「形はめパズル」であそびます。手に持った形と同じ形を探して、形を合わせてはめると、ポトンと中に入るのが楽しいあそびです。

育つこと

赤ちゃんは少しずつ、わかること（認識）が増えています。この頃には形の認識ができるようになってくるので、形を使ったあそびができます。同じ形を合わせる形はめあそびは、「分類」のはじめの一步となります。

記憶する

コトコト ガタガタ



おもちゃであそぶときや、ごはんを食べるときなどに、擬音語をつけて話しかけます。「コロコロ転がすね」「ガタガタ動くよ」「アムアムよく噛んでね」など、楽しい擬音語をつけてあげましょう。

育つこと

この時期はわかりやすい言葉で話しかけたほうが、のちの言語の獲得につながりやすくなります。難しい言葉を覚えさせるより、自分で理解して獲得した言葉のほうが応用が利き、自分で考えられる子に育ちます。

数字を認識する

ひとつ、ふたつ、みっつ



おもちゃを「ひとつ、ふたつ、みっつ……」と数えながら、赤ちゃんに渡します。おやつを食べるときも、ぼうろなどを「ひとつ、ふたつ、みっつ……」と数えて渡します。

育つこと

数というものがあることを知るあそびです。足したり引いたりはまだまだ先。まずは並んでいるものを数えられることを知ります。高い高いやハイタッチにかけ声を入れると、息を合わせられて楽しくなります。楽しいときの経験は頭に残りやすく、記憶定着によいといわれています。

数字を認識する

いち、にの、さーんで 高い高い



高い高いをするときに、「いち、にの、さーん」とかけ声をかけて、「さーん」のときに、高く持ち上げます。ハイタッチをするときや、跳び降りるときのかけ声に、同じように使ってもOKです。